

## 「教会との出会いは、神さまとの出会い」

大隈 道雄（信友会）

神さまとの出会い、信仰との出会いは人生を豊かにします。落ち込んでいる時、病の床に伏している時に主のみ言葉に接し、「救われた」「生き甲斐を与えられた」という人を、何人も知っています。教会との出会いは、人それぞれです。親や先生に言われたから来たという人がいます。偶然通りがかってそこに教会があったからという人、親しい方の結婚式や葬儀をきっかけに、キリスト教に関心を持ったという人もいました。きっかけは何でも良いのです。やがてキリストとの出会いを通して、教会の交わりの中で「生きる喜び」「生きる力」を感じることができるようになるのです。

何と素晴らしいことでしょう！ ともに信じ、神を賛美し、ともに学び、祈る友がいることは、どれだけ心強いことでしょう！ 私たちは「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」（ローマの信徒への手紙 12 章 15 節）と教えられ、実践しようと志すものです。イエス・キリストがともに居てくださいますから、私たちは罪の誘惑や死の恐怖を克服し、人生の困難や、世の中のどうしようもない不条理にも打ち勝つ、勇気と力が与えられるのです。

教会は私たちの信仰を育み、救いへと導く「母」である、と言った人がいます。教会への招きは、安らぎのうちに生まれ、ゆるぎない信仰に立つという、信仰生活

への招きです。聖書には、教会はイエス・キリストの一つの体である（エフェソの信徒への手紙 1 章 23 節他）と書かれています。私たちはイエス・キリストによって一つとされ、生かされ、救いに与ることができると信じています。

讚美歌 21 の 364 番に、私たちが出会う神さまが多様な姿で示され、斬新な歌詞で主なる神の栄光がほめたたえられています。「ホサナ」とはヘブライ語で、「救いたまえ！」と言う意味です。神さまはあなたに、どのようにみ手を差し伸べてくださるでしょうか。主と、主のからだである教会を信じ、ともに「いのちと愛に満ちた」教会生活を送りましょう！

### 讚美歌 364 いのちと愛にみつ

- 1 いのちと愛にみつ、聖なる栄えの主よ、  
そのみ名こそ豊なり。いざホサナ、ささげよ
- 2 強き主、母のごと、すべてのものを支え、  
昼も夜もはぐくむ主。いざホサナ、わが母
- 3 やさしき父のごと、その慈しみ絶えず、  
病む者らを抱きたもう。いざホサナ、わが父
- 4 年若い 弱れども、静かな配慮に満ち、  
知恵と理解限りなし。いざホサナ、おいし主
- 5 若さに輝く主、正義を呼び求め、  
われを忘れ 戦う主。いざホサナ、若き主
- 6 大いなるいのちの主、人の目には見えねど  
神の国はここにあり。いざホサナ、わが神